

～ 第18回支部催事 ユネスコ無形文化遺産「佐原大祭」見物 ～

幹事 宮地秀幸、川上 昇

佐原は千葉県北総地区で利根川を挟んで茨城県と接し、古くから水郷に恵まれ、舟運で栄えた町です。市街地の小野川沿いは小江戸と称され、風情ある当時の町並みが魅力の地です。また日本地図を作った、伊能忠敬のゆかりの地として有名です。

三百年伝統の山車祭り「佐原大祭」は、夏7月は小野川の東側、八坂神社を祭神に山車10台。秋10月には川の西側、諏訪神社を祭神に山車14台を曳き回すお祭りです。年二回の華麗なお祭りは国の重要無形民俗文化財であり、ユネスコ無形文化遺産にも登録されています。

今年の千葉支部秋催事は秋の「佐原大祭」三日間の中日10月14日土曜日に行いました。時々小雨かつ低気温での生憎なお天気でしたが、元気な会員22名（内家族2名）が参加しました。老舗蔵元見学で地酒試飲をおかわりし、伊能忠敬記念館では30分の解説に感心しきりでした。うなぎ処で「鰻重」に舌鼓。フリータイムでは、町の至る処で曳き回す山車を堪能。約5時間の佐原滞在となりました。場所を成田に移動した懇親会は16名が参加しました。

蔵元「東薫」工場



参加の皆さん（敬称略）

前列左から、住田勝治、川股賢三、猪田益彦、芹川夫人、平木夫人、野田佑、
白岩仙一、平木行雄 後列左 藤井弘道、宇田川修彦、木頃勝紀、小口健一郎、芹川時雄、牧田賢二、
六角学、市川宏、川島省三、浦上宣明、川上昇、宮地秀幸、坂本昇三郎、植野郁夫 計（22名）

山車の曳き回し



おまつりステージ



コース

- ① 集合 10:10 JR佐原駅
- ② 蔵元工場見学「創業文政八年佐原の蔵元“東薫”」 10:40～11:10
- ③ 伊能忠敬記念館 11:20～12:00 説明員による解説
- ④ 昼食「うなぎ処 麻生屋」 12:10～13:00
- ⑤ フリー「お祭りステージ 佐原囃子、手踊り」「山車曳き回し」「佐原町並み散策」の見学や買い物
- ⑥ 集合 14:30 JR佐原駅 懇親会参加者16名は成田駅へ 不参加者散会
- ⑦ 懇親会 「とり鉄」 15:30～18:00 解散

今日一日の出来事、佐原の風情ある町並み、年配者が脇を固め若者が曳く山車、リズムカルなお囃子と踊り。辛口で芳醇な酒の試飲、柔らかな鰻重の味。隠居後50歳から成し遂げた伊能忠敬の偉業。歴史ある建造物の数々。祭装束の児童、いなせなお兄さんお姐さん。

どれもが印象深く、それらを思い起こしながら帰路に就く、見どころ満載の一日でした。(川上、記)